

# 朝霞市立朝霞第五小学校 令和5年度 学校関係者評価委員会

令和6年2月16日(金)  
時間 午後 2時00分から  
場所 体育館3階会議室

司会 教頭

## 次 第

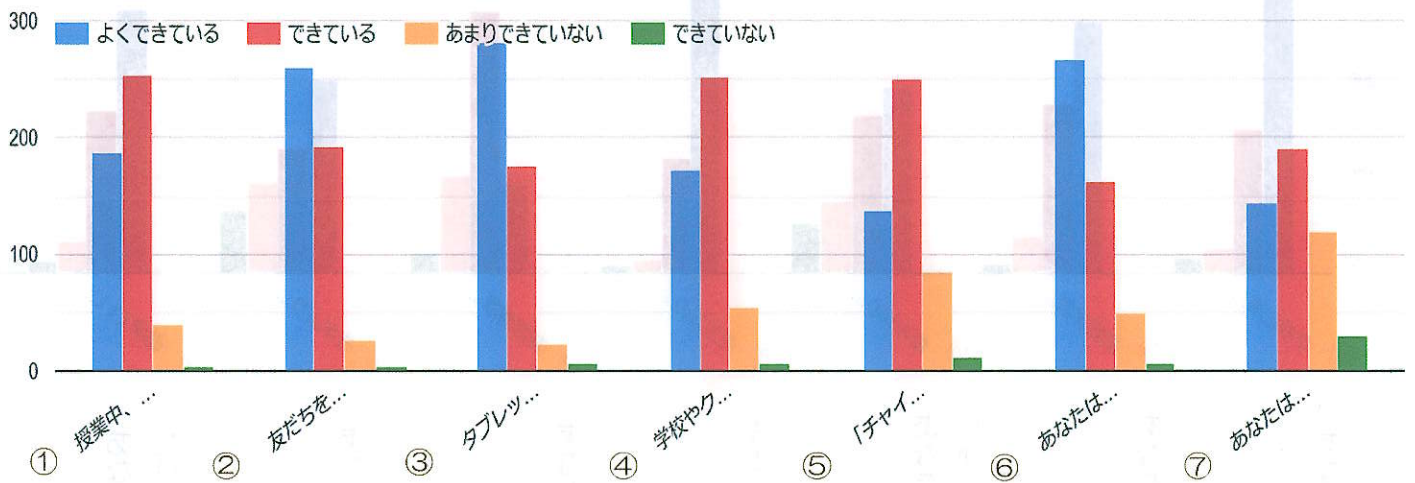
- 1 開会
- 2 令和5年度学校自己評価について 校長・教頭
- 3 学校関係者評価委員から 各委員
- 4 質疑応答
- 5 閉会

学校関係者評価委員会終了後、引き続き、第4回学校運営協議会となります。

# 令和6年度 児童アンケート集計結果

## 《質問項目》—I

- ① あなたは、授業中、先生の話をよく聞いて、進んで学習に取り組もうとしましたか。
- ② あなたは、友だちを思いやる気持ちをもって過ごすことができましたか。
- ③ あなたは、タブレットを使って学習を深めることができましたか。
- ④ あなたは、学校やクラスのきまりを守って、落ち着いて生活することができましたか。
- ⑤ あなたは、「チャイム前着席」など、時間を守って生活することができましたか。
- ⑥ あなたは、先生や友達、お客さんにしっかりあいさつすることができましたか。
- ⑦ あなたは、忘れ物をしないで生活できましたか。



① あなたは、授業中、先生の話をよく聞いて、進んで学習に取り組もうとしましたか。

② あなたは、友だちを思いやる気持ちをもって過ごすことができましたか。

③ あなたは、タブレットを使って学習を深めることができましたか。

④ あなたは、学校やクラスのきまりを守って、落ち着いて生活することができましたか。

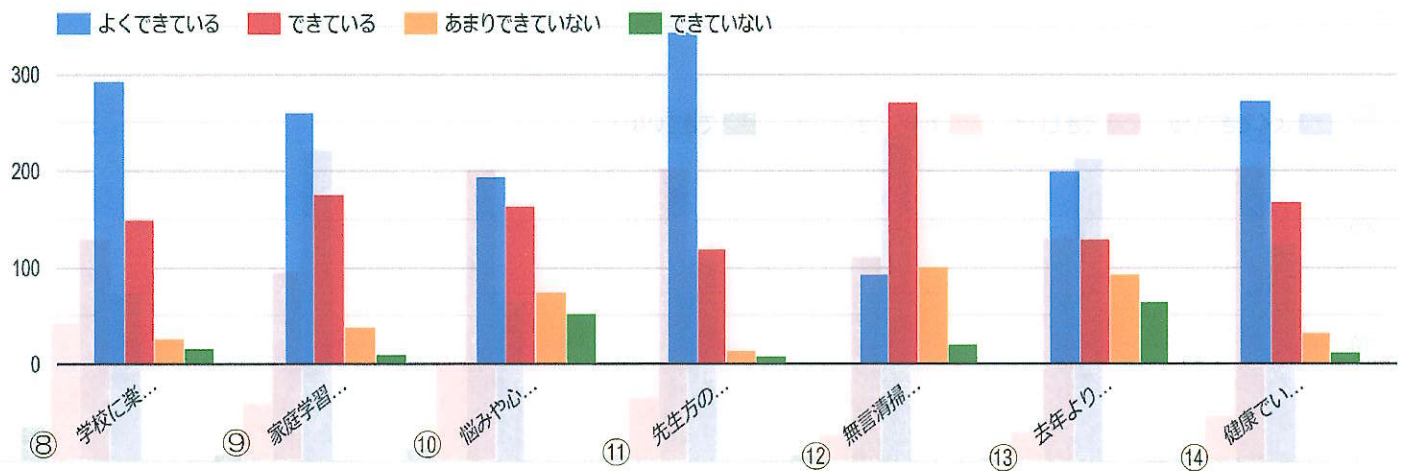
⑤ あなたは、「チャイム前着席」など、時間を守って生活することができましたか。

⑥ あなたは、先生や友達、お客さんにしっかりあいさつすることができましたか。

⑦ あなたは、忘れ物をしないで生活できましたか。

《質問項目》一Ⅱ

- ⑧ あなたは、楽しく学校に通えましたか。
- ⑨ あなたは、家庭学習や宿題にしっかり取り組むことができましたか。
- ⑩ あなたは、悩みや心配ごとを、学校の先生に相談することができましたか。
- ⑪ 先生方の授業は、分かりやすかったですか。
- ⑫ あなたは、無言清掃にしっかり取り組むことができましたか。
- ⑬ あなたは、去年よりたくさん本を読むことができましたか。
- ⑭ あなたは、健康でいられるように運動したり、規則正しい生活を送ったりすることができましたか。



あなたは、楽しく学校に通えましたか。

あなたは、家庭学習や宿題にしっかり取り組むことができましたか。

あなたは、悩みや心配ごとを、学校の先生に相談することができましたか。

先生方の授業は、分かりやすかったですか。

あなたは、無言清掃にしっかり取り組むことができましたか。

あなたは、去年よりたくさん本を読むことができましたか。

あなたは、健康でいられるように運動したり、規則正しい生活を送ったりすることができましたか。



＜保護者アンケート結果＞

No.	評価項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	
1	お子さんは、進んで学習に取り組んでいましたか。	28.5	48.6	18.3	4.6	77.1
2	お子さんは、友だちを思いやる気持ちをもって過ごすことができていましたか。	44.3	47.7	7.9	0.1	92
3	お子さんは、タブレットを使って学習を深めることができていましたか。	25.6	47.1	21.2	6.1	72.7
4	お子さんは、学校やクラスのきまりを守って、落ち着いて生活することができましたか。	40.3	44.2	13.3	2.2	84.5
5	お子さんは、時間を守って生活することができていましたか。	29.8	48.1	19.3	2.8	77.9
6	お子さんは、家庭のほか、先生や友達、お客さんにしっかりあいさつすることができていましたか。	29.9	47.3	18.8	4	77.2
7	お子さんは、忘れ物をしないで生活できましたか。	16.8	43.7	28.8	10.7	60.5
8	お子さんは、楽しく学校に通うことができていましたか。	53.4	34.7	9.3	2.5	88.1
9	学校は、保護者に出す文書（たより等を含む）や連絡メールは分かりやすく、ホームページを充実させるなど、家庭との連携を図る努力をしていましたか。	33.9	56.5	8.5	1.2	90.4
10	学校は、お子様の不安な事や悩み事に対して適切に対応していましたか。	35.4	53.5	9.4	1.7	88.9
11	お子さんは、去年よりたくさん本を読んでいましたか。	25.2	34.4	27.9	12.5	59.6
12	お子さんは、健康でいられるように運動したり、規則正しい生活を送ったりすることができていましたか。	35.7	49.1	13.1	2.1	84.8



<保護者アンケート結果 (R4-R5比較) >

No.	評価項目		A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	
1	お子さんは、進んで学習に取り組んでいましたか。	R4	33.2	45.3	18.2	3.3	78.5
		R5	28.5	48.6	18.3	4.6	77.1
2	お子さんは、友だちを思いやる気持ちをもって過ごすことができていましたか。	R4	48.4	45.5	5.8	0.3	93.9
		R5	44.3	47.7	7.9	0.1	92
3	お子さんは、タブレットを使って学習を深めることができていましたか。	R4	33.8	40	19.7	6.5	73.8
		R5	25.6	47.1	21.2	6.1	72.7
4	お子さんは、学校やクラスのきまりを守って落ち着いて生活することができましたか。	R4	46.3	41.4	10.6	2	87.7
		R5	40.3	44.2	13.3	2.2	84.5
5	お子さんは、時間を守って生活することができていましたか。	R4	31.3	47.4	18.7	2.6	78.7
		R5	29.8	48.1	19.3	2.8	77.9
6	お子さんは、家庭のほか、先生や友達、お客さんにしっかりあいさつすることができていましたか。	R4	28.9	48.3	19.1	3.7	77.2
		R5	29.9	47.3	18.8	4	77.2
7	お子さんは、忘れ物をしないで生活できましたか。	R4	21.1	44.9	25	9	66
		R5	16.8	43.7	28.8	10.7	60.5
8	お子さんは、楽しく学校に通うことができていましたか。	R4	61.2	30.5	7.4	0.9	91.7
		R5	53.4	34.7	9.3	2.5	88.1
9	学校は、保護者に出す文書(たより等を含む)や連絡メールは分かりやすく、ホームページを充実させるなど、家庭との連携を図る努力をしていましたか。	R4	35.4	51.4	11.9	1.3	86.8
		R5	33.9	56.5	8.5	1.2	90.4
10	学校は、お子様の不安な事や悩み事に対して適切に対応していましたか。	R4	35.5	52.9	9.9	1.8	88.4
		R5	35.4	53.5	9.4	1.7	88.9
11	お子さんは、去年よりたくさん本を読んでいますか。	R4	25.2	34.4	27.9	12.5	59.6
		R5	25.2	34.4	27.9	12.5	59.6
12	お子さんは、健康でいられるように運動したり、規則正しい生活を送ったりすることができていましたか。	R4	36.8	48.9	11.9	2.3	85.7
		R5	35.7	49.1	13.1	2.1	84.8



# 令和5年度 教職員自己評価結果

は、今年度変えた項目。

A:100～80% B:79～50% C:49～20% D:19%以下

No.	評価項目	A+B (%)	評価領域	自己評価の評価規準 ★校長自己評価シート項目から	自己評価	学校関係者 評価		
1	学校教育目標、学校経営方針を理解して教育活動に当たりましたか。	92.9	I 円滑な学校運営 ・教育目標の具現化	①学校の組織運営 危機管理 業務改善  ②基礎学力の定着 道徳教育 令和の日本型教育の実践 特別支援教育 研究・研修	A			
2	「目指す教師像・児童像」の達成を意識して教育活動を行いましたか。	95.2			A			
3	校務分掌の配置は適切であり、機能しやすく構成されていきましたか。	75.6			B			
4	会議時間の削減やペーパーレス化など、従前の働き方を改革する意識をもって業務にあたりましたか。	95.2			A			
5	死角となる箇所や瑕疵のチェックなど、施設・設備の整備を適切に行い安心・安全な教育活動を行うことができましたか。	95.2			A			
6	個人情報の管理（持ち出し、取扱い）を適切に行っていましたか。	100	A					
7	年度当初に校長が示した「服務に関する基本姿勢」に則って服務の厳正に努めたか。	97.6	A					
8	在校等時間を意識し、効率の良い働き方ができるように努めることができましたか。	88.1	A					
9	「個別最適な学び」「協働的な学び」を一体的に行うことで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うことができましたか。	92.5	II 学力向上・豊かな人間性・健康・体力向上を養う教育活動	③基礎学力の定着 道徳教育 令和の日本型教育の実践 特別支援教育 研究・研修	A			
10	児童の実態に応じて、一人一人の基礎的・基本的な学力の伸びを意識した指導・支援を行うことができましたか。	90			A			
11	年間指導計画に沿った授業を行うことができましたか。	97.5			A			
12	タブレット端末やICT機器を活用した授業改善に、積極的に取り組みましたか。	82.5			A			
13	道徳教育について、毎日の教育活動全体を通じて行うことができましたか。	95			A			
14	特別の教科道徳について、「考え、議論する道徳」の実現に向けた授業を実践することができましたか。	75			B			
15	特別支援教育への正しい理解と認識を深め、発達に課題がある児童に対して適切な支援を行うことができましたか。	95			A			
16	校内研修の回数や内容は充実していましたか。	82.5			A			
17	学校課題研究にフロックや学年で協力して取り組み、研修と修養に励みましたか。	85			A			
18	いじめ防止対策推進法に基づいていじめを認知し、解消までの見届けを適切に行うなど、学校・学年全体で組織的に対応することができましたか。	95.1			④生徒指導 教育相談 規律ある態度	②基礎学力の定着 道徳教育 令和の日本型教育の実践 特別支援教育 研究・研修	A	
19	新規不登校児童を出さない取組を充実させたり、継続不登校児童への適切な支援を行ったりすることができましたか。	90	A					
20	生徒指導や教育相談に関わる諸課題の解決に当たって、保護者や地域、関係諸機関との連携を適切に行っていましたか。	87.5	A					
21	児童は五小「生活のきまり」や「学習のルール」を守り、規律ある態度を身に付けていますか。	70.8	B					
22	五小「生活のきまり」や「学習のルール」に則った指導を行い、児童の発達段階に応じた規律ある態度を育むことができましたか。	95	A					
23	体育の授業や外遊びに、意欲的に取り組む児童を育成することができましたか。	84.6	A					
24	児童の体力（跳躍力、持久力、投力）を向上させる取組を行うことができましたか。	82.1	A					
25	地域や保護者への情報発信を積極的に行うなど、開かれた学校づくりに努めましたか。	70.8	⑤地域とともにある学校づくり	③生徒指導 教育相談 規律ある態度			B	
26	コミュニケーション・スキルとしての学校運営協議会の取組を理解しましたか。	69.1					B	
27	学校・学年教育目標などの各目標が生徒・保護者に理解されるように努めましたか。	85.4					A	
28	安全指導や学習指導などにおいて、三中や地域やPIA、外部の人材を積極的に取り込み、地域とともにある学校づくりに努めましたか。	70			B			
29	タブレットを活用しながら情報モラル教育を積極的に行うことができましたか。	87.5	⑥特色ある教育活動	③生徒指導 教育相談 規律ある態度	A			
30	授業や諸活動で、学校図書館を活用できていますか。	80			A			
31	人権に関する様々な諸問題についてその諸問題への正しい理解と認識を深め、児童の人権感覚を育成することができましたか。	82.5			A			
32	児童や職員同士、来校者とのあいさつを率先して行うことができましたか。	88.1			A			
33	学校行事や学級経営、授業を充実させることにより、全教育活動をおして児童の自己肯定感・自己有用感を育成することができましたか。	95.1	III 特色ある取組	⑥特色ある教育活動	A			
34	無言清掃の指導を徹底して行うことができましたか。	70			B			



## 令和5年度 朝霞市立朝霞第五小学校 学校評価書（案）

○自己評価の評価基準 A:できている B:どちらかと言えばできている C:どちらかと言えばできている D:できていない

○学校関係者評価の評価基準 ・自己評価と同じ評価の場合→自己評価は妥当であると判断 ・自己評価と異なる評価の場合→学校関係者評価委員会としての見方を示す

評価領域B7:H14H24B7:H30	自己評価の評価規準 ★校長自己評価シート項目から	自己評価	◇学校としての考え ◆課題・改善点	関係者評価	学校関係者評価委員の 意見・提言
I ・円滑な学校運営の 目標の 実現化	①学校の組織運営 危機管理 業務改善  ・学校経営方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、 監査等 ・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの 作成・活用 ・情報規定と持ち出し規則	A	◇年度当初、校長は「学校経営方針」とともに朝霞市 サービス規程に則った「サービスに関する基本姿勢」を職員 に示し、目指す学校像の具現化を説明するほか、朝 霞第五小学校の職員として遵守すべきサービス態度につ いて職員に周知した。 ◇各種たより等のペーパーレス化については取り組み 始めて2年目を迎え、保護者・地域の理解も深まっ てスムーズに進められた。 ◇学校は、教職員に継続して繰り返しの研修をととし て危機管理意識を醸成し、教職員の意識が高まって きている。 ◆学校は、より円滑な学校運営・教育を実現するた めに、校務分掌の仕組みを見直していく必要がある。	A	○ペーパーレス化について、在学者の方々にはほぼ周知され ていると感じます。新入生のフォローを厚く指導するこ とで更に、浸透されていくと思います。 ○日々の学校の様子などHPで公開していることはとても 助かっているため、今後も継続して行って欲しい。 ○校務分掌について、引き続き課題となっています。（具 体的なことがわからないので申し訳ありません。）職員 数が少ない学校に比べると、各自の負担が少ないように 思いますが、変わってきている状況等に合っていないと いうことでしょうか。 ○課題に対しての対策・対応は達成されていると感じてお ります。様々な校内研修やペーパーレス化等の時代に沿 った対策も多く見受けられます。 その反面、コロナ禍もあり、教職員の皆さんと保護者と のコミュニケーション不足等の原因によって価値観や教 育論がズレて来ているようにも感じております。基本姿 勢以前の問題で子ども達に寄り添う姿勢を、学校と家庭 と地域で連携を深めることが重要に感じております。
II 学力向上	②基礎学力の定着 道徳教育 令和の日本型教 育の実践 特別支援教育 研究・研修  ・指導計画の立案 ・「令和の日本型学校教育」の 実現（個別最適な学び、協働 的な学び）の実践 ・主体的・対話的で深い学びの 視点に立った授業改善 ・指導方法の工夫と改善 ・評価、評定の工夫 ・タブレット端末の活用促進 ・道徳科と各教科との関連 ・道徳的実践力の育成 ・家庭、地域社会との連携 ・特別支援教育の理解と推進 ・通常学級との交流 ・教員の資質向上	A	◇学校は、文科省の示す「令和の日本型学校教育」の 実践を目指し、外部講師を招聘しての校内研修に積 極的に取り組んだ。 ◇学校は、防犯教育、人権教育、校内研究に係る教職 員研修を行い、教職員の資質向上に取り組んだ。 ◇学校は、教職員がタブレット端末を活用しての授業 改善に進んで取り組み、活用スキルに自信をもつ教 職員が昨年度より増えている。 ◇学校は、特別支援教育に係る巡回相談や特別支援教 育推進専門員を活用して、学校全体の特別支援教育 に関する指導技術の向上に努めた。 ◆学校は、学校教育全体をととして道徳教育を推進す るとともに、「考え、議論する道徳」の授業実践に ついて研修を深めていく必要がある。 ◆学校は、教育基本法及び教育公務員特例法に定めら れた研修に、謙虚な姿勢で意欲的に学び続ける職員 を育成していく必要がある。	A	○「道徳」について、保護者のある年代の方々には学校で学 んでいない方もいるかと思っておりますので、保護者も一緒に 学んでいくことでより深く「考え、議論する道徳」が学 べると思っております。 ○教育環境については、タブレットの導入等は評価していま す。 ○特別支援学級においては児童が自力で取り組めるよう配 慮されていたり気持ちの切り替えがスムーズにできるよ う声かけをされていてそれぞれが 前向きに取り組んでい る様子がみられました。 ○文科省や教育研修に従った運営をしていただいている事 は理解でき、評価します。 しかしながら、全項目で言えますが、スキルや指導方法 以前の課題が大きく感じてしまいます。 挨拶やゴミが落ちているにもかかわらず、素通りしてし まう教職員や保護者の背中を見られている事を忘れてし まっているように感じます。決して教職員だけが悪いの ではなく、学校と家庭と地域で協力し合って、道徳やモ ラルを子ども達への見本・手本となるように大人達が変 わらなければならないと感じます。



<p>・豊かな人間性・健康・体力向上を養う教育活動</p>	<p>③生徒指導 教育相談 規律ある態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動、学級経営</li> <li>・組織的な生徒指導</li> <li>・問題行動への対処</li> <li>・教育相談、生徒理解</li> <li>・いじめ防止対策</li> <li>・個別の指導計画、支援計画</li> <li>・諸機関との連携</li> <li>・不登校対策委員会など 校内支援体制の整備</li> </ul>	<p>A</p>	<p>◇学校は、年度当初に学校における「いじめ防止基本方針」を定め、地域や保護者に学校ホームページで公表している。</p> <p>◇学校は、教育相談や生徒指導に関する研修を行い、教職員のいじめに関する危機管理意識の向上に努めている。</p> <p>◇学校は、保護者からの相談を受けた際には、各主任のほか管理職と連携して組織的な対応を行った。</p> <p>◆保護者からの相談を受けた担当から、より速やかに、より正確に学校全体で情報共有していく必要性がある。</p> <p>◆学校は、指導に関する基本的な考えを教職員全体で確認し、学級・学年を超えて同一歩調で積極的な生徒指導を行っていく必要がある。</p>	<p>○いじめについて、先生と保護者の関係性が近いことで、大きな事件や事故を未然に防げると思います。ITをすすめると同時に、顔と顔が見える関係性を大切にしたいと思っています。ペーパーレスをすすめているからこそ、保護者としては、手書きのお手紙など頂けると心に響くと思います。</p> <p>○コロナ禍をきっかけに不登校の児童が気になる。家庭はもちろんのこと、地域の協力も大切であると痛感します。</p> <p>○生活指導等一人一人を尊重しながらの指導は難しいと思いますがひき続き保護者の方々と連携し、早い対応で少しでも良い方に向かって欲しいと思っています。</p> <p>いじめや保護者からの相談に対して、早期に対応しているように見受けられました。時代の変化と共に教職員の立場や保護者の価値観の相違から対応が複雑化され、解決することが困難になってきております。</p> <p>学校と家庭が、互いに尊重し合って、協力して子ども達の成長を見守る姿勢、体制が重要であり、足りていないと感じます。校内においても担当や担任に任せてしまうのではなく、関係者全員が当事者意識を持って対応していく必要があると思います。</p>
	<p>④体力向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新体力テストの結果分析</li> <li>・体育好きな児童の育成</li> <li>・技能向上のための取組の工夫</li> </ul>		<p>A</p>	<p>◇学校は、体力向上推進委員会が中心となって、昨年度課題であった投力の向上に取り組んだ。</p> <p>◇体育部が中心となり、規律ある集団行動ができる力の育成に取り組んだ。</p> <p>◆引き続き体力の向上に取り組んでいく必要がある。</p>



<p>Ⅲ 地域連携</p>	<p>⑤地域とともにある学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校情報の発信(学校HPなど)</li> <li>・学校公開・授業参観 <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面談の実施</li> </ul> </li> <li>・充実した学校運営協議会の実施</li> <li>・地域、三中学校区間連携</li> <li>・PTA、学校応援団活動等の活性化</li> </ul>	<p>B</p>	<p>◇学校は、学校ホームページや配信メールを活用して積極的に情報公開を行った。</p> <p>◇学校は、学校運営協議会委員とともに、より良い学校運営について実りある熟議をすることができた。</p> <p>◆学年や分掌に関する取組については、各種たよりのほかにも情報発信していく努力が必要である。</p> <p>◆学校運営協議会の取組については、昨年度に引き続き会議結果の公表や職員の参加などにより浸透させていく必要がある。</p>	<p>○HPについては、見に行かなくてはいけないというハードルがあるため、SNSの活用も検討してみるのはいかがでしょうか。行内に関してはPTAと連携しBANDの活用も効果があると思います。三中校区ふれあい活動は、とても活気のある会となったと思います。</p> <p>○運営協議会の数値が低いので、会議結果の周知・職員の参加を積極的に希望します。</p> <p>○見やすいホームページと細やかな配信メールでペーパーレス化も定着してきていると思います。</p> <p>○学校公開の授業時間がせめてもう1限多いと、兄弟が在籍されている保護者の方もゆっくり参観出来ると思います。</p> <p>○ホームページも一新され、情報公開は積極的に活用できていると感じます。しかし受け取る側の家庭や地域がそこに追いつけていないように感じます。</p> <p>学校運営協議会やPTA、学校応援団、町内会をはじめとする地域の皆様のそれぞれの活動は充実しておりますが、それぞれの連携と会員一人一人の帰属者意識の希薄化が課題だと思っています。</p>
<p>Ⅲ 特色ある取組</p>	<p>⑥特色ある教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の特色ある教育活動に関わる項目</li> <li>・昨年度の学校評価を踏まえた課題への解決</li> </ul>	<p>A</p>	<p>◇学校は、ポストコロナの時代を見据えて学校行事を精選し、コロナ前に即した教育活動を、内容を変更した上で復活させた。それにより、昨年度に比べて多くの保護者や地域の方々に学校を開くことができた。</p> <p>◇課題となっているあいさつ指導について、児童委員会が率先して行う取組のほか、教職員への啓発、学校運営協議会を巻き込んだ取組など、指導方法や手段を工夫・改善して実施した。</p> <p>◆学校は、増加するネット被害やネットいじめの防止について、さらに情報モラル意識を児童に指導していく必要がある。</p>	<p>○児童から自発的にあいさつをしようという気持ちを感じられるようになりました。</p> <p>○五小児童はとても積極的に挨拶をしていただけていると感じます。</p> <p>○ネット被害・ネットいじめに関しては、どんな被害内容かも気になってます。</p> <p>○ポストコロナ対応として保護者や地域と連携を図り、子ども達を共に見守る為にも、働き方改革の捉え方が重要だと感じます。</p> <p>特色を活かしていく為にも、受賞したビオトープの活用と情報発信に取り組んでいただきたいと期待します。</p> <p>また、市内小学校の彩夏祭、鳴子への参加も他校へ広めて行くことが課題だと感じております。</p> <p>ICTの充実や活用、モラルといったものは、学校だけでなく、第一義的な責任は保護者にありますので、連携が最重要だと感じます。</p>

# 朝霞市立朝霞第五小学校 令和5年度 第4回学校運営協議会

令和6年2月16日（金）  
学校関係者評価委員終了後

司会 教 頭

## 次 第

- |     |                   |     |
|-----|-------------------|-----|
| 1   | 開会の言葉             | 教 頭 |
| 2   | 会長あいさつ            | 会 長 |
| 3   | 校長あいさつ            | 校 長 |
| 4   | 熟議（進行は会長）         |     |
| (1) | 「地域ぐるみのあいさつ運動」    | 教 頭 |
|     | ・学区内掲示板への掲示依頼     |     |
|     | ・児童へのクリアファイル作成    |     |
| (2) | 令和6年度年間行事予定内容について |     |
| (3) | 生徒指導体制について        | 校 長 |
| 5   | 諸連絡               |     |
| 6   | 閉会の言葉             | 教 頭 |

※ 閉会后、委員の皆様からコメントをいただきます。3月21日（木）の研修会で使用させていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

### 次年度、第1回学校運営協議会について

★令和6年4月25日（木）に実施予定です。任命式も併せて行います。





朝霞五小・地域ぐるみのあいさつ運動キャンペーン

# あいさつは

## にこにこ

## いつでも

## だれにでも



あなたからはじめてみよう！

# 親子・友達・いつものあの人へ

作成：令和5年度 朝霞第五小学校運営協議会 / 後援：朝霞市教育委員会

★「学校運営協議会」とは、地教行法第47条の5に基づいて設置されている組織で、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るために活動しています。



# けやきっ子 からの メッセージ



えがおで  
元気なこえで  
こころをこめて  
**あいさつ**しよう！

**あいさつ**で  
みんなの心に  
花をさかそう！

**あいさつ**が  
かえってくると  
いいきもち

いつも だれにでも  
きもちのよい  
**あいさつ**をしよう！

**ありがとう**  
かんしゃのきもち  
ちつたえよう

**あいさつ**は  
目と目をあわ  
せて元気よく



ほかにもこんな名言も…

「あいさつからすべてが始まる。大きな声であいさつすると、相手のこころのとびらが開く。だから、世界が広がり、幸せにみちあふれる」「あいさつほどかんたんでたやすいコミュニケーション方法はない」「マナーのある人が先にあいさつする」「人を気持ちよくさせる方法ってたくさんあるけど、あいさつってその中の一つだよな」

《上から順に》渡邊美樹(ワタミグループ創業者)/デール・カーネギー(実業家・作家)/奥脇洋子(マナーコンサルタント)/ビートたけし(芸人・映画監督)

様式第3号

朝教委生ス収第464号

令和6年1月25日

朝霞市立朝霞第五小学校

三好 正浩 様

朝霞市教育委員会

教育長 二見 隆久



## 後援承認通知書

令和6年1月23日付けで申請のありました件につきまして、下記のとおり通知します。

### 記

- 1 事業名 朝霞市立朝霞第五小学校 学校運営協議会
- 2 後援 承認します。
- 3 承認条件
  - 1) 事業開催前にポスター、チラシ、プログラム等の印刷物を提出すること。
  - 2) 事業終了後に、速やかに実績報告書及び決算書を提出すること。





地域に愛され 地域とともにある学校  
コミュニティ・スクール・2023

(1) 「地域ぐるみのあいさつ運動」の取組について

◆本日配布いたしました、デザイン案をご覧ください。

①お気づきの点、改善点がありましたら、発言をお願いします。  
②配布対象、掲示場所について、ご確認をお願いします。  
【クリアファイル配布】・五小児童(1～6年生)・五小の職員  
【ポスター掲示】・「学校だより」を配付している地域住民(長の方に送付)  
・学区内掲示板

③発行予定日について  
2/19(月)発注→3月中旬発行予定

令和5年度 第4回 学校運営協議会

9

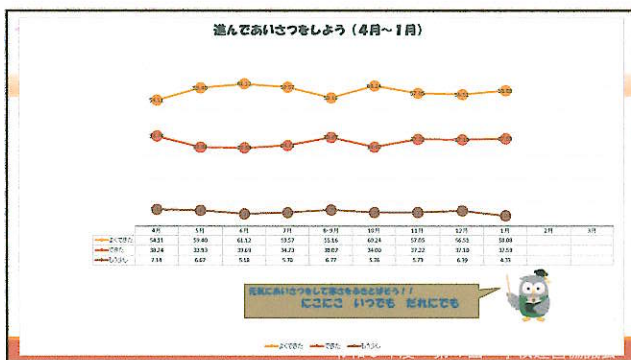
地域に愛され 地域とともにある学校  
コミュニティ・スクール・2023

(1) 「地域ぐるみのあいさつ運動」の発行について

イラストは、本校の合田教諭が創作しました!

令和5年度 第4回 学校運営協議会

10



11

地域に愛され 地域とともにある学校  
コミュニティ・スクール・2023

(2) 「令和6年度 年間行事予定」

- ★三中学区内での調整・・・特に三中
- ★1学期の個人面談
- ★学校公開日の設定

令和5年度 第4回 学校運営協議会

12



# 朝霞市立朝霞第五小学校

6Z/10/1720Z  
2024/01/29



4月 朝霞五小の桜は満開です



希少種の移植作業中



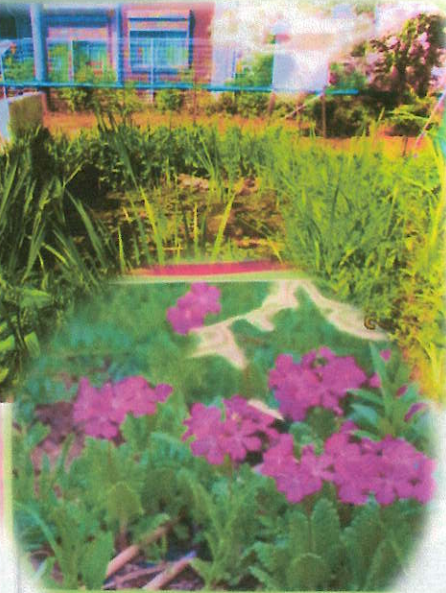
4月 移植作業終了!



教頭先生が池に魚介類を放流。  
ニホンアカガエルの卵塊も。



8月 草刈完了ピオトープらしくなりました



埼玉県の花・サクラソウ  
(絶命危惧種)

8月 環境委員会の子供達のほか、地域や学校応援団の方々の力が、ピオトープを再生してくれました!





# ギンブナ譲渡式



9月 凸版印刷朝霞工場から、ギンブナを譲渡していただきました！



# 池の魚貝類・カニ他



ギンブナ(普通種)



ニホンアカガエル卵塊 (準絶滅危惧種)



モクスガニ (準絶滅危惧種)



ミナミメダカ(絶滅危惧II類)

20



9月 聞き取り調査の様子(校長室にて)



9月 ビオトープ現地調査中！



ウマノズクスサ花



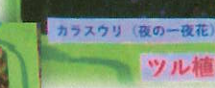
アイヤメ (普通種)



ガガイモ



ノハナショウブ (絶滅危惧II類)



カラスウリ (夜の一夜花)



カキツバタ (絶滅危惧I B類)

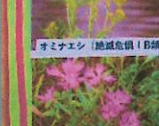
# ツル植物

# アイヤメ科の仲間

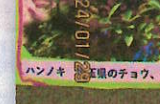
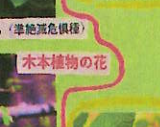
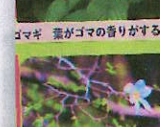
# 池周辺で見られた昆虫たち



# 少なくなった植物



# 秋の七草です



駅に近く、住宅地街にある朝霞五小では、「都会のビオトープ」の在り方を探っていきます！



# 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動のさらなる一体的な推進について」(概要版)

## ◇ コミュニティ・スクール (CS) とは

- ・法に基づき、「学校運営協議会」制度を導入した学校のこと
- ・学校・保護者・地域の皆さんが知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させ、協働しながら、子供たちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み

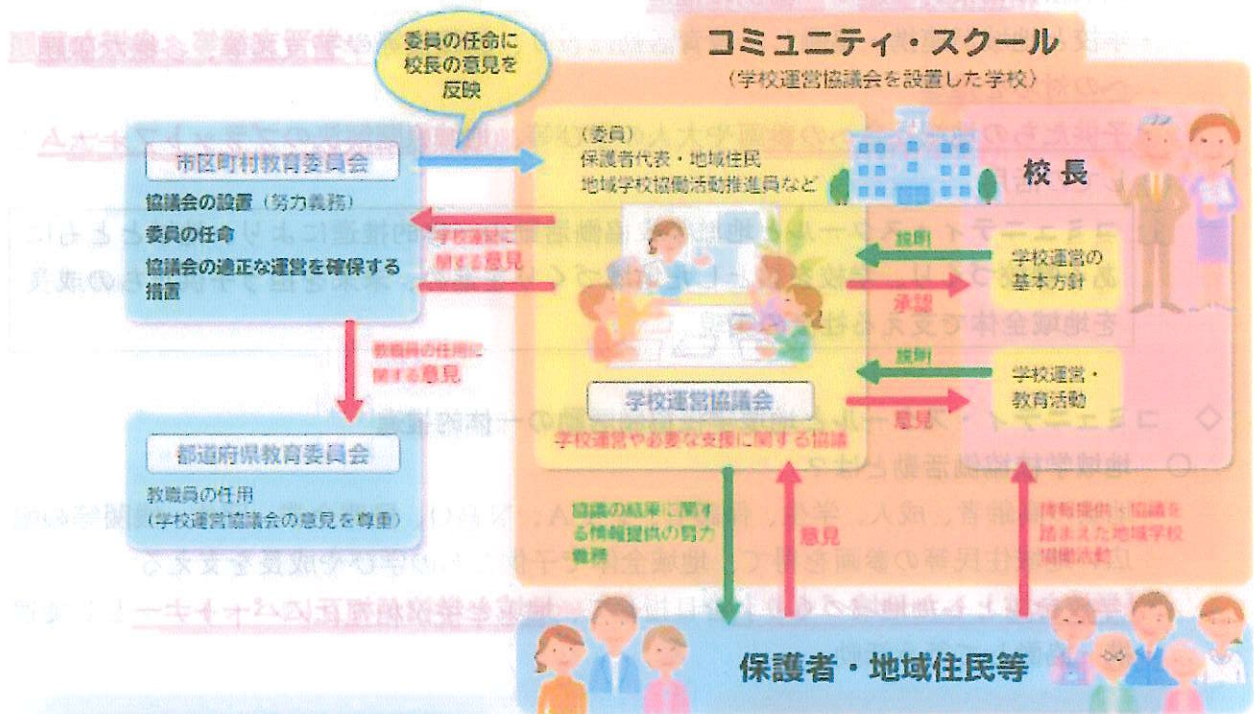


図1 コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）の仕組み

## ◇ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の国の動向は？

〔第4期教育振興基本計画〈令和5年度～9年度〉(令和5年6月16日 閣議決定)〕

### ○ 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

- ・持続的な地域コミュニティの基盤形成に向けて、公民館等の社会教育施設の機能強化や社会教育人材の養成と活躍機会の拡充
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進、家庭教育支援の充実による学校・家庭・地域の連携強化
- ・生涯学習を通じた自己実現、地域や社会への貢献等により、当事者として地域社会の担い手となる



〔コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議 最終まとめ  
 (令和4年3月14日 コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議)〕

○ コミュニティ・スクールの質的向上

- ・学校と地域をつなぐ総合的な企画・調整役を担う「地域学校協働活動推進員」の配置促進・機能強化
- ・適切かつ多様な学校運営協議会委員の人選

○ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

- ・両取組の相乗的な連携・協働の推進
- ・学校と地域が連携・協働した教育活動により、放課後等の学習支援等、多様な課題への対応を推進
- ・子供たちの地域社会への参画や大人の学び等、地域課題解決のプラットフォームとしての活用

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進により、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりを進め、未来を担う子供たちの成長を地域全体で支える社会の実現

◇ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

○ 地域学校協働活動とは？

- ・地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支える
- ・「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う活動

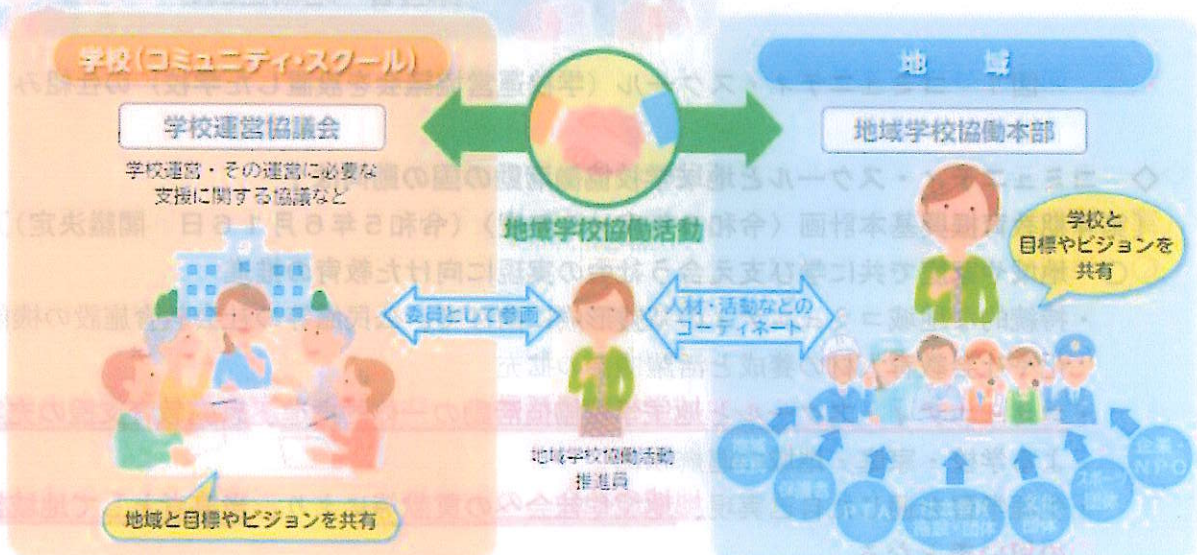


図2 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一つの取組として



○ 地域学校協働活動は、社会教育法第5条第2項により、学校と協働して行う以下の活動と規定

- ・ 学校の授業終了後又は休業日において学校、社会教育施設等で行う学習、その他の活動
- ・ ボランティア活動、社会奉仕体験活動、自然体験活動、その他の体験活動
- ・ 社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して学校、社会教育施設等で行う教育活動、その他の活動



○ 地域学校協働活動推進員の配置

- ・ 地域学校協働活動を推進するためには、学校と地域をつなぐ**コーディネーターの役割は必要不可欠**（※2ページ）
- ・ 「地域学校協働活動推進員」は、社会教育法に基づき教育委員会が委嘱する地域住民等と学校との連絡調整等を行うコーディネーター
- ・ 「地域学校協働活動推進員」として法律に位置付けられた明確な立ち位置で地域学校協働活動を推進することにより、継続的で円滑な活動を行うことが可能

● 地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の企画・立案  
 ● 学校や地域住民、企業・団体等の関係者との連絡・調整



●地域ボランティアの募集・確保など

○ 地域学校協働本部の整備

- ・地域学校協働活動の推進に当たっては、「地域学校協働本部」を整備することが有効
- ・教育委員会は、地域学校協働本部の整備について、積極的な支援を行うことが重要

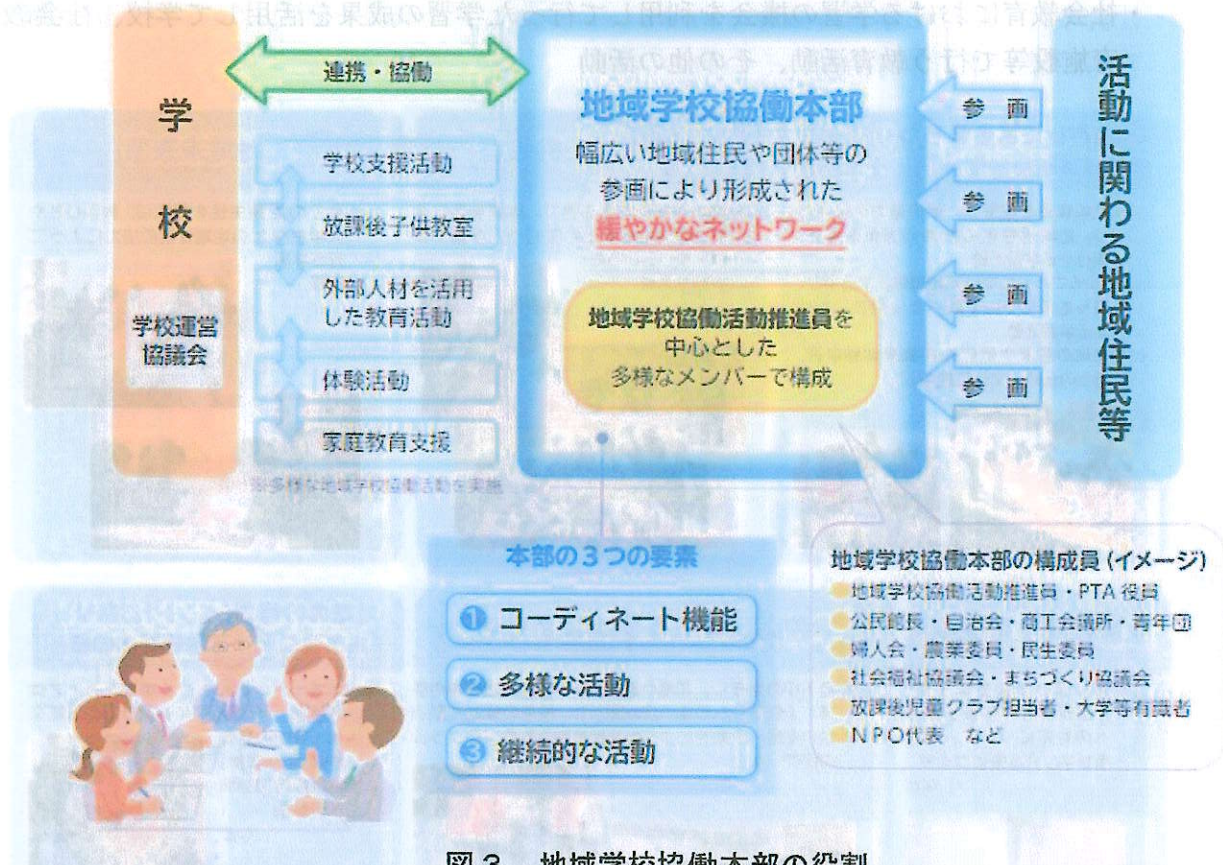


図3 地域学校協働本部の役割

◇ 社会総がかりで教育を考えるキーワード

○ 学校を「支援」する地域

「支援」とは、一方的な手助けにしか過ぎない・・・

○ 地域は学校と協働するパートナー

・「協働」とは、一つの目標を達成するために様々な主体やメンバーが協力し合うこと

・「協働」とは、一方的な依存関係ではないので、「一緒にやりましょう」を合言葉に

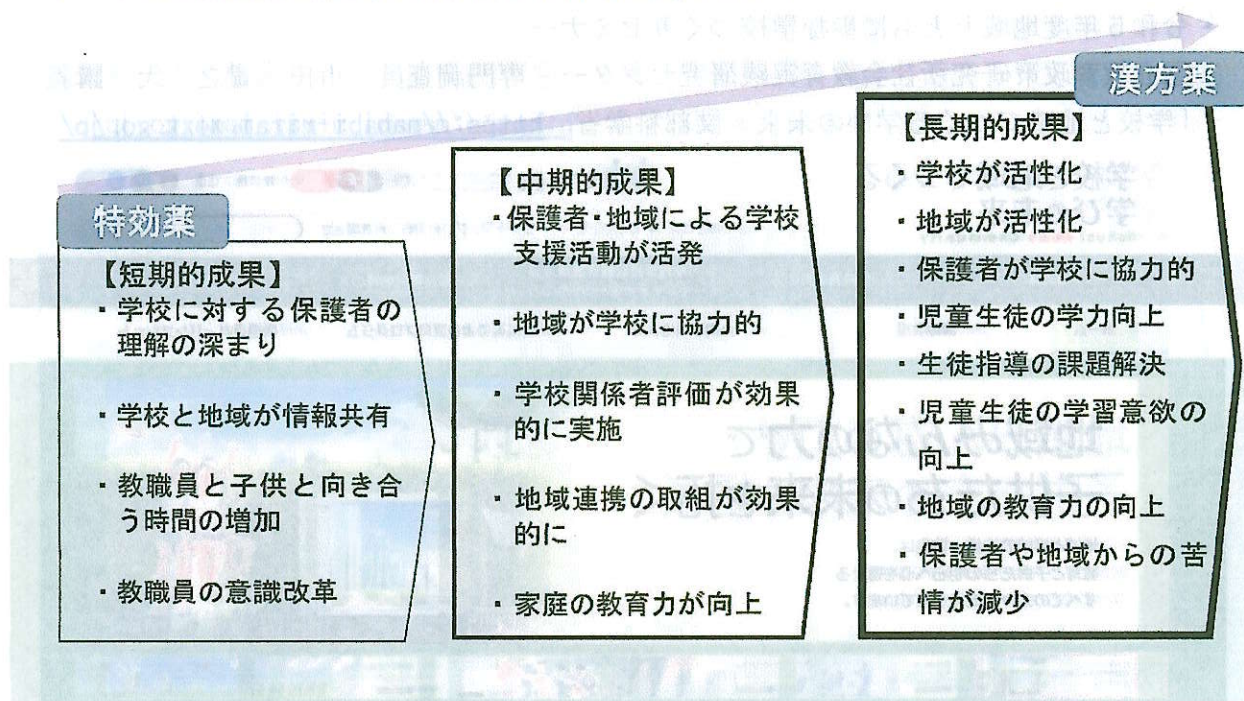
イコールパートナーになることが重要

(「お願い」や「依頼」では“やってあげているという感覚を抱かせてしまう)

・「学校には～してほしい」「地域には～してほしい」という一方的に要望するだけではない関係を緩やかに形成していくことが原動力となる



◇ 学校運営協議会制度の利点をどのように捉えるか？



◇ 「熟議」の必要性和重要性

○ 地域とともにある学校の運営において大切な視点

- ・関係者が当事者意識をもって「熟議（熟慮と議論）」を重ねること
  - ⇒ 子供たちがどのような課題を抱えているのかという実態を共有するとともに、地域でどのような子供に育てていくのか、何を実現していくのかという目標を共有する。
- ・学校と地域の人々が「協働」して活動すること
  - ⇒ 学校と地域の信頼関係を構築した上で、学校運営に地域の人々が「参画」し、共有した目標に向かって「協働」して活動していくことが大切である。
- ・学校が組織としての力を発揮するための「マネジメント」
  - ⇒ その中核となる学校は、校長のリーダーシップのもと、教職員全体がチームとしての力を発揮できるよう、組織としての「マネジメント」力を強化していくことが大切である。

これらのことにより、連携できることを精選（規模を縮小）したり、持続可能な形態を考えたりすることである。（大々的なプロジェクトを立ち上げることありきではない！）

○ 熟議の重要性

学校・保護者・地域住民が目的を一にした熟議によって、学校・保護者・地域住民が目的を達成するためにできることを、それぞれの立場で考え、活動できる。



<参考>

- ・令和5年度地域とともに歩む学校づくりセミナー

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター 専門調査員 川田 貴之 氏 講義

- ・「学校と地域でつくる学びの未来」文部科学省 <https://manabi-mirai.mext.go.jp/>

